



しあわせおっぱい通信

岐阜県総合医療センター4階東病棟(産科病棟) Vol.39 2019 秋号



院内HP

BFH (赤ちゃんに優しい病院) に継続認定されました!!!



↑ 第28回母乳育児シンポジウムの様子

現在、日本国内では66施設がBFH(赤ちゃんに優しい病院)に登録されています。

8/3、4に第28回母乳育児シンポジウムが北海道・札幌市で開催され、当院での取り組みを発表しました。発表内容をご紹介します。

●当院の取り組み

妊娠中

外来での保健指導

おっぱい教室

入院中の妊婦の管理

母乳育児を成功させるためには、妊娠中からのケアが重要です。それぞれの妊婦さんにあったケアの方法の説明やバースプランで母乳育児への思いを確認しています。

入院中

STS(早期皮膚接触)の実施

おっぱいケア

他部門との連携

出産後は、STSを実施し、愛着形成を促します。入院中は、お母さんと赤ちゃんに合った授乳方法を一緒に考えたり、母乳分泌を促すために助産師によるアロママッサージや足湯などを行っています。平日には、新生児科の医師による回診があり、赤ちゃんの状態を注意深く観察しながら母乳育児を進めています。

↓ 当院の取り組みをポスターで発表しました

退院後

2週間・1か月健診

母乳外来

育児サークル

退院後も2週間健診・1か月健診を通して赤ちゃんの体重増加や、お母さんのおっぱいの状態を確認します。また、育児サークルを通してお母さん同士の交流の場を設け、おっぱいに関することを含めた育児不安を解消できるように支援しています。



🌸 これからも病院全体で母乳育児を支援していきます 🌸

